

専門科目 保健政策・医療管理学分野

(博士後期課程)

科目名	国際保健政策学特論	code number : HPM 517	選択	1 単位
-----	-----------	--------------------------	----	------

科目責任者	高橋 謙造 教授						
配当年次	1年次	配当学期	後期(前半)	曜日・時限	火曜 4時限	授業方法	講義

1. 授業の概要

- ・国際保健分野の課題を理解するための視座の一つとしてSDGs(Sustainable Development Goals) Goal3、なかでも特にUHC(Universal Health Coverage)に着目し、その実現のための課題を分析・理解できる能力を身につける。
- ・特殊研究対象国を素材として取り上げ、UHCの3つの目的に基づいて多面的に分析することから、研究対象国におけるUHC達成のための必要条件を抽出し、実現可能性を検討する。

2. 授業の到達目標

【一般目標(GIO)】

- 1.国際保健に関する政策課題を俯瞰して、現行の国際保健課題(SDGs, UHC)に関する知見に精通した実務家となることを目標とする。

【行動目標(SBO)】

- 1.SDGsおよびUHCの現状・課題を、特に特殊研究対象国(あるいは事前に履修者が指定した国)に関して把握し、課題について説明出来る。
- 2.UHC達成のための障壁、克服課題等に関して説明出来る。
- 3.実務に従事する際に、学びを活かすことが出来る。

3. 成績評価の方法および基準

- (1) 毎回、履修者が事前にプレゼン資料(1名あたり20-30分程度)を準備し、授業前日12時までに提出する。提出物(ワード文書ないしはパワーポイントでも可能)評価(60%)
 - (2) 授業への積極的な参加(40%)
- 出席点による加点は行わない。無断欠席、提出物の提出遅れについては減点の対象となる。

4. 教科書・テキスト

- ・後日指定します。

5. 参考書

- ・講義前にLMSに参考文献等を掲載するので、熟読して参加すること。

6. 事前事後学修の内容およびそれに必要な時間

- ・本コースでは、受講生の間での討論を重視するので、指示された資料・参考書・文献は、担当者以外も事前に熟読しておくこと。
- ・当該期間に15時間以上の予復習が必要。

7. その他履修上の注意事項

- ・提出物に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。
- ・この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

<授業計画>

国際保健政策学特論

回数	日付	時限	担当者	授業内容
1	9/14(火)	4	高橋 謙造 教授	特殊研究対象国(あるいは事前に履修者が指定した国)に関する概況(政治構造、財政状況*、貧困状況、保健医療課題等) *財政状況:軍事支出、保健支出等を含む
2	9/21(火)	4	高橋 謙造 教授	特殊研究対象国(あるいは事前に履修者が指定した国)に関するMDGsの達成状況と残された課題
3	9/28(火)	4	高橋 謙造 教授	特殊研究対象国(あるいは事前に履修者が指定した国)に関するSDGsの課題と障壁
4	10/5(火)	4	高橋 謙造 教授	前半のまとめ(対象国の優先課題とSDGsの整合性)
5	10/12(火)	4	高橋 謙造 教授	特殊研究対象国(あるいは指定国)に関するユニバーサルヘルスカバレッジの課題 ①Protection against financial risk:保健医療予算、compulsory insurance contributions, household/employer prepayments for voluntary health insurance等
6	10/19(火)	4	高橋 謙造 教授	特殊研究対象国(あるいは指定国)に関するユニバーサルヘルスカバレッジの課題 ②The quality of health services:提供しうる保健医療の質の現状
7	10/26(火)	4	高橋 謙造 教授	特殊研究対象国(あるいは指定国)に関するユニバーサルヘルスカバレッジの課題 ③Equity in access to health services:保健医療サービス施設の配置、人材等
8	11/2(火)	4	高橋 謙造 教授	特殊研究対象国(あるいは指定国)に関するユニバーサルヘルスカバレッジの達成の必要条件と可能性のまとめ